

新製品発表

設置面積を最大化するスリムサイズの住宅用単結晶太陽光発電モジュールを発売
「STP165S-20/Idb」

2013年9月 発売予定

サンテックパワーージャパン株式会社（本社 東京都新宿区 社長 山本豊）は、住宅用太陽光発電システム「ブラックレーベル」のモジュールのラインアップとして、従来の標準サイズと組み合わせることにより効率的に住宅の屋根に太陽光発電モジュールを設置できる、スリムサイズの単結晶太陽光発電モジュール「STP165S-20/Idb」を発売します。標準サイズの「STP250S-20/Wdb」、ハーフサイズの「STP125S-10/Ndb」と合わせて3種類のサイズのモジュールのラインアップをご用意することで、モジュール設置枚数を増やし屋根を最大限活用できる設置方法をご提案します。

新製品の「STP165S-20/Idb」は、縦幅を住宅用主力製品である「STP250S-20/Wdb」と同じサイズの1,640mmとし、横幅を3分の2サイズの676mmとすることでスリム化を図っています。これまでの設置方法では余ってしまった棟側スペースに効率的に設置することができ、屋根の形状によってはハーフサイズの「STP125S-10/Ndb」も組み合わせることで、標準サイズのみに対して約27%設置容量を増やすことが可能になります（当社製品比、下図参照）。「STP165S-20/Idb」の公称最大出力は165W、変換効率は14.8%で、発電力と設置の効率性を兼ね備えた製品となっています。

「STP165S-20/Idb」は日本専用モデルとして開発されており、製造は長野テクニカルサポートセンターで行います。長野テクニカルサポートセンターは、サンテックパワーージャパン(株)の前身である(株)MSKが1989年に開所した長野プラントの中にあり、2012年7月に太陽光発電モジュールの設計・製造機能に加え、性能・品質試験機能を強化しリニューアルオープンしました。日本の屋根に最適な日本専用モデル「STP165S-20/Idb」をラインアップに加え、日本の住宅用市場での更なる販売拡大を目指します。



<本件のお問合せ先>

サンテックパワーージャパン株式会社

マーケティング本部 広報担当 三澤・北原 03-3342-3892

< 「STP165S-20/Idb」 の主な仕様 >

製品名	STP165S-20/Idb
公称最大出力	165W
モジュール変換効率	14.8%
基準変換効率 (J-PEC 指定の実効変換効率)	17.2%
使用セル枚数	40
外形寸法(W×H×D)	1,640×676×35mm
質量	13.0kg
出力許容公差	+/- 5%

< 「STP165S-20/Idb」 製品写真 >



※ 対応する架台はガシットルーフ。順次ほかの架台も対応予定。



News Release

2013年7月17日
サンテックパワーージャパン株式会社

＜サンテックパワー・ホールディングス、及びサンテックパワーージャパン株式会社について＞

サンテックパワー社は 2001 年に中国無錫で設立され、2005 年にニューヨーク証券取引所に株式を公開しました。2006 年に日本市場の開拓と BIPV（建材一体型太陽電池）のノウハウを共有するために、太陽光発電モジュール製造販売で長年の実績を持つ株式会社 MSK を傘下に収め、2009 年 6 月にサンテックパワーージャパン株式会社として発足させました。2008 年末に太陽光発電セルとモジュールを合わせ 1 GW の生産能力を世界で初めて達成、2010、2011 年度に太陽光発電モジュールの生産量※1・出荷量※2 で 2 年連続世界第 1 位となり、また 2011 年 10 月に累積設置量 5GW を世界で初めて達成しました。市場規模の大きいヨーロッパ各国、米国、アジア中近東で高い評価を得ています。

※ 1 (独)PHOTON International 2011 年、2012 年 3 月号による

※ 2 (英)IMS リサーチ 2011 年 4 月、2012 年 2 月による